

製品名: ACTR1B ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21209**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:100-1:300,FC 1:100-1:300,IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW::Observed MW:41kD

抗原情報

遺伝子名	ACTR1B;CTRN2
別名	ACTR1B;CTRN2;Beta-centractin ;Actin-related protein 1B;ARP1B;
遺伝子 ID	10120.0
SwissProt ID	P42025
免疫原	ヒト ACTR1B の合成ペプチド

背景

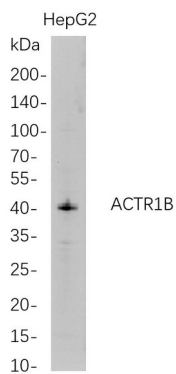
細胞局在: 細胞質、細胞骨格。細胞質、細胞骨格、微小管形成中心、中心体。この遺伝子は、22~150 kD の10個のサブユニットからなる高分子複合体であるダイナクチンの42.3 kD サブユニットをコードしています。ダイナクチンは微小管と細胞質ダイニンの両

方に結合し、小胞体からゴルジ体への輸送、リソソームとエンドソームの求心運動、紡錘体形成、染色体運動、核の配置、軸索形成など、多様な細胞機能に関与しています。このサブユニットは ACTR1A と同様にアクチン関連タンパク質です。これら 2 つのタンパク質は長さが等しく、アミノ酸配列の 90% が同一であり、ダイナクチン複合体において約 1:15 の一定比率で存在します。 [RefSeq 提供、2008 年 8 月]

研究分野

-

画像データ



HepG2 細胞全細胞ライセートのウェスタンブロット解析では、4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを抗 ACTR1B ウサギモノクローナル抗体でプロットングした。抗体の検出には、HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。